



鳥見小学校
校庭観察会

富雄第三小学校
校庭観察会

昨年に引き続き、放課後子供教室で自然観察会を行いました。参加した子供は1、2年生が中心の34名、スタッフは6名で楽しい時間を過ごしました。

昨年度と同様に雨模様で、何度も空を見上げていたところ、12時頃になって雨は上がり、雲が切れ青空が見えだしました。冷たい風が強くと吹く寒い中でしたが、無事に実行できました。やれやれ！

出し物は、秋の実にポイントを置き、葉の匂い、マツの葉と実、カエデの種の分散、スズカケノキの葉と実、ミラーウオークの5つ。昨年とすっかり中身を入れ替えました。

松の葉ではアカマツとクロマツを触った時の痛さ違いを実感しました。また松ぼっくりが湿気で閉じたり開いたりする不思議にびっくり、そして、今年穂ったばかりの小さな実を見もらいました。松葉の相撲は非常に面白かったようです。

葉の匂いは、クス、ミカン、ドクダミを使用しましたが、ミカンの葉の匂いに人気がありました。

スズカケノキの丸い実をすばやく見つけ、大きな葉は気に入ったようです。

カエデの実がくるくる回りながら落下するのを体験してもらおうとしたのですが、強い風で吹き飛ばされ実演に苦労しました。



鏡に映った空、樹の枝や葉を見ながら歩くのは非常に楽しかったようで、「怖い」「落ちそう」と言いながら2回、3回と楽しんでいました。

後半の自然工作は、押し花・押し葉を使ったシオリ作りでした。みんな喜んで作っていました。中には妹の分、お母さんの分などと大量生産している子もいました。

(木村 裕)

11月27日（水）富雄第三小学校放課後教室の校庭観察会はスタッフ9名が参加して実施しました。この学校の放課後教室は、1～2年と3～6年の2つの教室に分かれて活動をされています。そのため、今回の観察会も、2つのグループに分かれて、開始時刻も場所も内容も別々に実施しました。

1～2年生は、学校から徒歩5分のところにある黒谷公園に出かけ、ドングリ（マテバシイ）、クズ、匂い、カタバミ、ミラーウオークの5ポイントを設定しました。マテバシイを食べて「おいしい！」という子もいれば、「絶対食べたくない。」という子もいて、個性の違いを感じました。

いろいろな形の葉っぱがあるクズでジャンケンをして楽しみ、葉にも色々な匂いがあることを体感し、カタバミで10円玉をピカピカにして、植物が持つ力の不思議を感じてもらいました。



3～6年は、校庭にあるピオトープ付近で、ドングリ（アラカシ）トウカエデ、クロガネモチ、スカイウオークの4ポイントを設定しました。トウカエデのプロペラを飛ばして風散布の様子を目で確認したり、葉っぱに字が書く体験をしました。

ミラーウオークの体験は、どちらのグループの児童にも新鮮で印象深かったようです。

観察会の後は押し花を使った「しおり作り」を楽しみました。個性豊かな「しおり」ができて満足そうでした。



(平岡久美)